



今月のみさとし/我等の希求する社会は、共存共栄全世界の平和である。(五信条)

本部布教推進会議

奉祝の年 活性化に向けて誓い新たに

6月23日～24日にかけて御霊地・解脱研修センターにおいて「奉祝の年 活性化に向けて」をテーマに本部布教推進会議が行われ、立教90年下半期、そして来る奉祝記念大祭と解脱金剛70年祭に向けて更なる精進を誓った。



早朝の御霊地お山にて布教推進祈願達成に向けたお百度を踏み



渡辺理事長 植田本部教務員 武笠東京第7教区長

進祈願達成に向けたお百度を行い、研修センターに戻り、渡辺理事長挨拶の後、松田布教部長より今年3月に行われた「教区五担当者研修」の概要と報告があり、続いて五担当者研修に基づいた活動報告が行われた。兵庫教区の植田郁代本部教務員より「青年こども感謝会」について、東京第7教区の武笠一男教区長より「教区のつどい」についての実践発表があった。

これらを受けて、「教区五担当者研修を活かし支部を活性化する」をテーマに各圏域に分かれ、それぞれ企画・実践に繋げるための活発な討議が行われ、最後は、渡辺理事長の激励の言葉で締めくくられた。

奉祝の年も上半期が過ぎ、下半期にかけて各圏域・教区・支部とそれぞれの一層の飛躍が期待される。

西団長が万歳三唱の発声を務めた。

参加者からは、両陛下のご慈愛に浴し、微力ながら奉仕をさせていただけた喜び、また支部や教区を越えた仲間と4日間の作業を通じ親しく交流できた喜びの声などが聞かれた。

万部供養の申し込みはお早めに

本部メ切は9月15日です!

立教90年・解脱金剛70年祭という佳節の年を迎えられたのは先人・先輩たちがみ教えを広めてくださったお蔭です。記念の大祭には、「開教以来先亡者之霊」に申し込み、感謝と報恩の真を捧げましょう。

先ず、長老さまより「幸せのおすそ分けに励んでもらいたい」との激励のお言葉を頂いた後、渡辺孝彦理事長が「支部活性化に向けて」と題して挨拶。続いて西村晴雄教務局長が布教活動方針の確認と奉祝記念事業の報告、そして今後の布教に関する取り組み方を示した。

午後は松田佳高布教部長の「自主感謝会

の充実」に向けた説明の後、「奉祝記念大祭」について西村祭典委員長、大木直孝総務部長より説明があり、「解脱金剛70年祭」について中元敏彦年祭準備委員長が説明、その後、活発な質疑応答が行われた。続いて各圏域別で、「後期の活動について」のディスカッションが行われた。

翌日は午前6時半からお山にて布教推

皇居勤労奉仕

両陛下のご慈愛に浴し

6月18日から21日にかけて、本会では7度目となる皇居勤労奉仕に、北海道から九州まで全国より集った会員総勢60名が参加した。1日目と3日目は雨天のため午前中の施設案内のみとなったが、4日間の行程を60名全員が無事に完遂することができた。作業は全体を通じて

草むしりや掃き掃除が主で、皆で協力し合い、喜びに満ちた奉仕活動となった。

2日目には、解脱会奉仕団にとって平成の御代として最後の機会となる、今上陛下からの御会釈を賜った。陛下より、奉仕団が着用していた「足もみ隊」のベストについて御下問があり、西功義団長がその活動についてご報告申し上げると、「ご高齢の方など、さぞかし喜ばれたことでしょうね」とのお言葉を賜った。今回、東日本大震災当初より足もみ活動を

続けてきた東北からの参加者も数名おり、感涙に溢れる一幕となった。また4日目の皇太子殿下御会釈の折には本会を含め5団体を代表して



第49回 神変大菩薩碑建立記念祭

津之守弁財天夏祭

金剛さまの御意志と先覚者の熱意の賜物

梅雨明けの夏祭

梅雨晴れの6月19日、山梨県富士吉田市の北口本宮富士浅間神社境内にて第49回神変大菩薩碑建立記念祭が長老さま、渡辺孝彦理事長、岡野英夫顧問をはじめ来賓各位、地元甲信教区や関東地区会員、また今回、初めて東京から女性講座かたばみ会（首都圏女性の勉強会）の方々もバスで参加される中、厳かに執り行われた。



午前11時より開式の辞、修祓、献饌、長老さまによる祝詞奏上の後、代表者による玉串奉奠、勤行と続いた。渡辺理事長は挨拶で「佳節の年にこの式典を挙行させていただけたのは多くの方々の協力があつたからこそ、その根底

にあるのは金剛さまの御意志と、故・山本仁三郎先生の熱意の結果である」と述べられた。続いて上文司厚宮司から祝辞を頂き、地元会員を代表して、白木好雄教区長より挨拶があつた。式典終了後は直会があり、地元会員の手づくりの手料理を頂きながら親睦を深め、和やかな時を過ごした。



早い梅雨明けの強い陽射しの下、7月1日の報恩日行事に先立ち、正午より四谷津之守弁財天の夏祭が行われた。長老さまをはじめ稲子知義崇敬会会長、本部役員、首都圏各支部長や荒木町町会関係者らが参列する中、式典では長老さまが祝詞を奏上し、参加者一同、日頃の御加護に感謝の意を捧げた。

東京第3教区・小河内ダム慰霊祭

尊い犠牲の上に水の恵みがある

東京第3教区では5月27日、東京・奥多摩湖畔の工事殉難者慰霊碑前で、64名が参列し慰霊祭を行った。現在、首都圏で使用される約20%の水を供給する小河内ダムは、945世帯の移住や工事殉職者87名の尊い犠牲により昭和32年に完成。湖畔には殉職者を

悼み慰霊碑が建てられている。ダム完成後、当時の福生支部の故・村山福子支部長が「水没した霊魂への安霊と感謝の供養を」との呼び声により昭和42年より同支部を中心に慰霊祭が始まり、現在に至っている。



当日は午前11時より慰霊碑前にて厳かに慰霊祭が行われ、尊い犠牲の上に水に恵まれた暮らしがあることへ、参加者は感謝の真を捧げた。

沖縄地区戦没者慰霊祭

相互理解と思いやりの心を広げよう



6月10日、糸満市摩文仁の平和祈念公園にある沖縄戦没者墓苑および魂魄の塔にて、沖縄地区の3支部合同で、沖縄戦戦没者慰霊供養祭を行った。当慰霊祭は沖縄戦が終結した6月23日の慰霊の日を前に行っている恒例行事である。沖縄本島南部は戦争中、数多くの民間人が犠牲となつた激戦地であり、至る所に慰

霊碑が建立され、現在も遺骨収集が続けられており、毎年、慰霊の日には新たに見つかった遺骨の主の氏名が名簿に加えられ平和の礎に刻まれている。

慰霊供養の後、出講の瀧久和指導員は、「怨親平等の供養の精神を学び、身近なところから相互理解と思いやりの心を広げていくことが戦没者への真の慰霊と世界平和につながる道である」と述べた。当日は日曜日だったため、生花や供物を捧げ、線香を手向けて戦没者の冥福を祈る人々の姿が多数見られた。

八甲田雪中行軍慰霊供養祭

墓石一つひとつに真心を込めて



好天に恵まれた7月1日、東北第1教区十和田支部では、青森市幸畑陸軍墓地にて八甲田雪中行軍殉難者慰霊供養祭を行い、地元有志と青森県内の各支部、更に東北の会員、総勢45名が参列した。これは、明治35年1月、日露戦争を前に雪の八甲田山で行軍演習中に遭難し殉職した210名（内199名が凍死）の将兵への慰霊で、今回で3回目となる。祭典は、11時より国歌斉唱、拝礼行事、回向文奏上に続いて献花、献茶と進み、参加者

全員で焼香の後、心経33巻を念唱、整然と並ぶ殉難者の氏名が刻まれた一つひとつの墓石に真心を込めて天茶を注ぎ冥福を祈った。中屋敷もみ子実行委員長は挨拶で、供養祭の経緯と共に参列者へ御礼を述べ閉会。銅像茶屋へ移動し、直会となり、和やかな雰囲気の中、終了となった。

茨城教区・女性のつどい

「和」の精神を発揮させる



6月2日、茨城教区女性のつどいが茨城小田支部にて開催され、合わせて38名が参加した。

午前9時より開会、根本博教区長の挨拶に続いて、武市万苗指導員が講話にて家庭内で「和」の精神を日々発揮させていく大切さを説き、「人生のどんな場面でも、人として生を享けたことに感謝できるのが解脱会員。常に神先祖にお護りいただいていることを心に置いて努力精進いたしまししょう」と伝えた。

終礼行事後、バスに乗り込んだ参加者たちは一路、秩父神社へ移動。現地では山本和雄・秩父中央支部長と山崎正道支部幹事の案内を受け、正式参拝と境内の見学を行った。昼食後は長瀬ライン下りで清々しい川風を堪能し、最後に宝登山神社の参拝をもってすべての行程を終え、一同帰路についた。

また参加者はグループに分かれて模擬茶話会を行い、茶話会の実践を目指した学びを深めた。



御本家奥様が霊界入りされる



本会名誉顧問、そして埼玉北本宿名誉支部長である岡野正先生の奥様・富貴子さまが7月4日に霊界入りされた。昭和8年12月18日生まれ。享年84歳。

富貴子さまは昭和30年に岡野家に嫁がれ、御本家の嫁としての役目を果たされる傍ら、同40年に支部長夫人と

なられてからは正氏を蔭で支え続けられた。大祭等では御本家に訪れる会員をいつも笑顔でもてなされる気さくでおおらかなお人柄から、全国会員より「お母さん」と慕われた。

北陸教区・女性セミナー

輝く女性になりましょう

6月17日、北陸教区女性セミナーが金沢長田支部にて開催された。今回は「つながる心 パート2～輝く女性になりましょう～」をテーマに掲げ、共に学びたくなる魅力的な女性を目指して40名が学び合った。

午前11時より拝礼行事が行われ、横山高信教区長の挨拶に続いて、体験発表では富山岩瀬支部の秋濃京子さんが、大病を乗り越えて七年ぶりに大祭へ参加できたこと、その経験の中で得た気づきについて語った。

昼食をはさんで、午後からは出講の中西好子指導員が講話に立ち=写真、セミナーのテーマである「輝く女性」について、「み教えは言葉を覚えただけにとどまらず、教わったことはすぐに実行に移していくこと。それによって、おのずと輝ける自分になっていく」と伝えた。その後の質疑応答では、後継者問題や子供の結婚など様々な疑問について中西指導員が丁寧に回答。感動のうちに午後3時、閉会した。終了後も中西指導員に個人指導を受けに行く参加者たちの姿が絶えなかった。



九州教区・女性のつどい

茶話会で皆がしあわせに！

九州教区では7月1日、サンメッセ鳥栖において女性のつどいを開催し、総勢124名が参加した。当教区では3地区に分かれて女性のつどいを開催してきたが、今年は奉祝の年ということから7年ぶりに教区の女性が一堂に会した。今回は、「あなたも私もしあわせ！茶話会」をテーマに茶話会の尊さを学んだ。

大会では、茶話会の模様をスライドで紹介した後、実践者である熊本大津支部の光永土範さん・ひとみさん夫妻と大分城原支部の北島恵梨子支部長が体験発表。光永夫妻は、熊本地震を機に足もみ隊に参加し現地での実践を通して奉仕の喜びを実感、現在は自宅での「足もみ茶話会」が近隣の憩いの場となっているとの内容が述べられた。北島支部長は、実家で営むパン屋の常連客や縁ある人と教を学び自他共に幸せへの道を歩んでいると述べた。

酒田日吉町支部

設立80周年記念感謝会

酒田日吉町支部は6月9日、設立80周年記念感謝会を開催、本部より岡野英夫顧問を迎え、総勢31名が支部道場に集い、盛会裏に行われた。

拝礼行事の後、杉山眞子支部長は、「今日を迎えられたのは先代の柿崎支部長夫妻の真心と奮闘のお蔭」と先輩の功績に感謝しつつ来し方を振り返った。昭和13年、下谷支部の太田義之助氏に導かれた渡部慶助氏が支部を設立。同氏が朝

鮮に移った為、同26年に柿崎貢氏が継承、足掛け56年間にわたり支部を守り大勢を導いた。

岡野顧問は記念講話で、金剛さまの思い出などを紹介しつつ、解脱生活の尊さを述べられ、「先代のご遺志を次世代に繋げるよう記念の年を始まりとしていただきたい」と会員の奮起を促した。

また当日は菅原弘樹教区長や佐々木勉・秋田栖山支部長、さらに杉山支部長と同



期で親しい川村朗・宮城小牛田支部長や小椋一衛・滋賀蛭谷名誉支部長夫妻も遠路来賓として同席し、共々に祝い合った。感謝会後は近くの寿司屋にて直会となり、一同教えの話に花を咲かせた。

西日本豪雨で被害に遭われた方々へ 心からお見舞い申し上げます。

西日本に想像を超える甚大な被害をもたらした豪雨により、多くの尊い命が犠牲となりました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■会員の被害状況 (7月15日現在)

○中国第2教区・岡山灘崎町支部会員宅2階床上浸水13軒、床下浸水1軒 福山引野支部会員宅床下浸水5軒○四国西教区・伊予殿町支部の宇和島市在住会員宅全壊1軒、床下浸水1軒が報告されています。

■本部の対応

瀬尾正照・中国第2教区長より救援物資の要請を受け、7月10日に本部災害備蓄品と追加購入品(着替え等)合わせて段ボール53個分を現地窓口となる岡山灘崎町支部(朝倉壽男支部長)へ発送。7月14日に藤原博内務局長が現地入りし、各支部や被害に遭われた会員を慰問し被害状況を伺いました。7月18日～20日、藤原内務局長が本部職員2名と共に現地へ赴き、情報収集と物資輸送・片付け等の協力を行いました。またボランティアとして東京地区や中国第2教区の青年部OB・青年部有志が7月9日に始まり、15、16、18、19日と自主的に現地入りし、片付けや救援物資の輸送にと精力的にお手伝いをしています。



水位が矢印の高さまで上がり、逆さまになった車(真備町)



溶けてしまった土壁(真備町会員宅)



家財道具はゴミと化し運び出された(真備町会員宅)



本部より発送した救援物資の一部

■特別供養と募金のお願い(詳細は各支部へ送付済)

今回の豪雨により亡くなられた犠牲者に対し、支部感謝会にて特別供養を厳修し、併せて義援金の勧募もお願いいたします。期間は10月末までとさせていただきます。

各地で家族スクールを開催

東京第4教区

宇宙への夢広げ

6月17日、東京第4教区では家族スクールを開催し、参加した89名が「筑波宇宙センター」「こもれびの森イバライド」をバスで巡った。心配されていた雨はあがり、一行はバスで蒲田を出発。車

内では宇宙トリアクイズで大いに盛り上がった。「筑波宇宙センター」では、ガイドさんの説明を熱心に聞いたり宇宙服に好奇心を掻き立てられたりと宇宙への夢が大きく広がった。



「こもれびの森イバライド」では、パーベキューランチでたくさん食べて力をつけ、動

物たちとふれあい、芝滑りやゴーカートで遊び、皆で笑顔の一日を過ごした。

神奈川教区

好評博したウォークラリー



6月24日、神奈川教区では小田原市いこいの森にて、4回目となる「家族スクール・パーベキュー大会」を開催し、102名が参加した。午前11時に始まり、レクリエーションに続いて、昼食の時間にはパーベキュー大会を行い、大人も子供も楽しい時

間を過ごした。続いて、今年から新しく取り入れたウォークラリーでは、青年部と子供を交えたチーム構成にしたことで、お互いに一体感が生まれて仲間意識がより強まり、参加者から好評を得た。午後2時に閉会。思い出に残る一日となった。

中国第2教区

初の「ファミフェス」開催!



中国第2教区では6月24日、広島千年支部にて「ファミリーフェスティバル」を初めて開催し、70名が参加した。この行事は、「家族学び」へと繋げ、教区や支部の活性化を目的に立ち上げられたもの。午前10時半に開会。子供たちにはかき氷が配られ、大

喜び。続いて3チームに分かれた子供たちが手巻き寿司を作り、出来栄の良い順に金、銀、銅賞のメダルが渡され、昼食ではそのお寿司やうどんを食べた。他にも「足もみ」の実践、三聖地巡拝練成の参加呼びかけ等を行い、午後2時、終了となった。